



**Business Report 2012**

第67期 事業報告書

**2011.10.1 ▶▶ 2012.9.30**

証券コード 7432



株式会社 **ダルトン**

# 株主の皆様へ



代表取締役社長

**矢澤 英人**

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社の第67期（平成23年10月1日から平成24年9月30日まで）の事業の概況と決算のご報告をす  
るにあたり、皆様の平素のご支援に対し厚く御礼申  
上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、長引くユー  
ロ圏の金融不安、アメリカ経済の停滞、そして中国経  
済の減速が加わり、依然として株安円高基調が継続し  
ております。また、緩やかな回復の兆しを見せた日本  
経済も、国内政治の混乱による東日本大震災の復旧・  
復興の遅れや消費税増税に向けた動向など、先行き不  
透明感が否めない状況が続いております。

このような経済情勢の中、当社グループは株式会社

イトーキ（以下、イトーキ）研究施設機器事業と当社  
の科学研究施設事業の統合を行い、多分野・多市場に  
おける協業を推し進め、当該セグメントに留まらず、  
粉体機械等におけるシナジー効果の追求にも尽力致し  
ました。また、本社他の事業所移転を実施し、経営並  
びに業務効率の改善に向けた取り組みを実施してまい  
りました。

以上の結果、当社グループの受注高は16,041百万  
円（前期比11.8%減）、売上高17,293百万円（前期比  
7.8%増）、営業利益417百万円（前期比3.5減）、経常  
利益309百万円（前期比1.5%増）、当期純利益269百  
万円（前期比36.9%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご協  
力を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

# 事業別の概況

## ■ 科学研究施設

科学研究施設については、イトーキ研究施設機器部門の譲受けによる事業統合により、新たな営業・販売体制強化に向けた取り組みに着手しました。[Lab∞lution (ラボリューション)]という新たなコンセプトを掲げ、研究空間とオフィス空間の融合並びに総合的提案をイトーキグループとして行ってまいりました。その結果、従来の製品提供から提案型営業へのシフトと、市場における差別化と新規市場の開拓につなげることができております。さらには、イトーキと当社の経験・ノウハウを融合させ、全般的なコストの見直しを図ることで、下半期を中心に収益性改善に貢献することに成功しております。当社は、従来の懸案事項であった大型案件受注と収益性確保に対して、これらの取り組みにより収益を生み出せる体制づくりが確実にできつつあるものと考えております。その結果、売上高11,963百万円（前期比13.5%増）、営業利益313百万円（前期比63.1%増）となりました。



## 科学研究施設売上高



## ■ 粉体機械等

粉体機械等については、民間企業における設備投資意欲の低迷、特に当社が得意としている医薬業界における設備投資計画の見送りなどが起因となり、非常に厳しい市場環境に置かれておりました。そのような中、引き続きグループ内の連携強化と新製品開発の取り組みや、医薬業界に次ぐ第二の得意分野の構築に取り組んだものの、本年度における業績寄与に結びつけることには至らず、売上高5,329百万円（前期比3.0%減）、営業利益598百万円（前期比6.8%減）という結果となりました。



## 粉体機械等売上高



## 対処すべき課題

当社グループを取り巻く環境は、日本国内の経済環境の不透明感に包まれており、依然として厳しい情勢が続くものと思われま。このような環境の中、当社はグループ間の連携を高め、グループシナジーを追求することで、当社グループの業績向上に向けての取り組みを進めております。

科学研究施設につきましては、競合他社との価格競争が依然として続く中、イトーキ研究施設事業との統合を経て、具体的成果が見られる中、研究空間とオフィスの融合を掲げたコンセプト「[Lab∞lution (ラボリューション)]」により、提案型営業の確立と競合他社との差別化、さらに大型案件の受注率向上を図ってまいります。また、主力製品の内作生産への取り組みによる原価管理の強化、事業統合による市場情報を盛り込んだ新製品開発、イトーキ製品のOEM請負などによる収益性の改善、さらに新製品の開発に取り組むことで、市場優位性の確保・売上拡大・原価管理による収益性改善に努めてまいります。

また、粉体機械等につきましては、グループ経営による相乗効果追求を急務としている中、事業所集約による経営並びに業務効率の改善を図ってまいります。事業所集約を機に、原価管理体制の強化と試運転設備の充実化を図ることにより、お客様の課題を迅速に解決することで、業務効率改善と顧客満足度の向上の両立を図ってまいります。さらに製品開発体制の見直しを行い、新製品開発による新たな市場への取り組みに繋げてまいります。

上記事業展開を迅速かつ的確に推し進めることで、業績向上を早期に成し遂げるとともに、安定したグループ経営に向けて、着実に歩を進めてまいります。

当社では、お客様のニーズに的確にお応えすることとともに、新製品による新たなご提案を積極的に行うことで、「より安全に、より快適に」をモットーにお客様の作業環境の向上に努めております。

## 1. Lab∞lution～「知的創造空間」の革新へ～

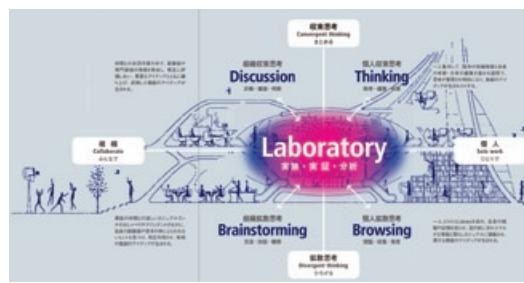
当社科学研究施設事業において、株式会社イトーキの研究施設機器事業との事業統合を機に、研究施設分野とオフィス分野の融合により、「知的創造空間」=Labの革新を提案すべく、「Lab∞lution～「知的創造空間」の革新へ～」というコンセプトを掲げ、新たなビジネスモデルに取り組んでおります。

研究者の知識創造活動を最大限活性化させるため設備・システムの構築はもちろん、空間設計、研究者間のコミュニケーションに至るまで、従来の概念にとらわれず、研究者の創造性を支えることで、未来の社会に寄与する研究成果を生み出す革新的な「知的創造空間」を実現したいと考えています。

「すべては研究者のために」、私たちダルトングループは、次の時代の快適なラボ環境に向け革新を続けてまいります。

## Lab ∞ lution

～「知的創造空間」の革新へ～



## 2. 新型粉砕機「シルフィードミル」

粉体機械等における製品「粉砕機」は、産業用で多く使用されている粉砕機はハンマーと原料の衝突を粉砕力とした衝撃式粉砕機が一般的です。しかし、従来の衝撃式粉砕機は処理量こそ多いものの、 $20\mu\text{m}$ 以下の微粉砕が難しく、また高い発熱によって粉砕品の変質が生じることがございます。今回、当社では原料を羽根で発生させた気流に乗せて、原料同士の衝突・磨砕によって粉砕を行う新型粉砕機「シルフィードミル」を開発・発表致しました。

従来の衝撃式粉砕機にはできない微粒子粉砕、低発熱粉砕に対応が可能となり、新たな市場、新たな商機により、業績向上に向けて大きな期待を寄せております。



## 3. WALDNER社とのパートナーシップ



当社はWALDNER社（ドイツ）とのパートナーシップにより、理想のラボの実現に向けて、技術・販売提携・情報共有を図ってまいります。

WALDNER Laboreinrichtungen GmbH&Co.KGは、60年以上の歴史を持ち、ラボファニチャーに関するあらゆるアプリケーションを開発・製造してきました。代表的なラボファニチャーシステム「SCALA」は、研究室の快適性能を最大限に提供しております。ヨーロッパのマーケットリーダーであるWALDNER社がもたらす革新の数々は、世界中の研究施設業界に影響を与えています。世界標準の品質とクオリティの高いデザイン、そして完璧なプロジェクトマネジメントを当社グループと共有することで、新しい研究空間を提案してまいります。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 千円)

科目	当連結会計年度 (平成24年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成23年9月30日現在)	科目	当連結会計年度 (平成24年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成23年9月30日現在)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>7,908,744</b>	<b>7,665,164</b>	<b>流動負債</b>	<b>6,575,292</b>	<b>6,443,168</b>
現金及び預金	2,910,722	2,368,778	支払手形及び買掛金	3,222,732	3,692,646
受取手形及び売掛金	3,533,049	3,308,886	短期借入金	2,203,789	1,771,603
商品及び製品	553,947	864,974	1年内償還予定の社債	148,400	201,300
仕掛品	227,700	275,094	リース債務	56,047	17,964
原材料及び貯蔵品	358,832	344,749	未払法人税等	95,688	113,221
繰延税金資産	176,542	200,869	賞与引当金	157,991	196,761
その他	158,710	310,637	製品保証引当金	31,940	23,850
貸倒引当金	△10,761	△8,826	資産除去債務	—	5,880
<b>固定資産</b>	<b>5,541,226</b>	<b>4,916,479</b>	その他	658,703	419,941
<b>有形固定資産</b>	<b>4,232,770</b>	<b>4,094,783</b>	<b>固定負債</b>	<b>3,147,613</b>	<b>2,684,269</b>
建物及び構築物	708,602	700,868	社債	306,400	94,800
機械装置及び運搬具	135,232	157,302	長期借入金	1,150,220	902,434
土地	3,160,287	3,160,287	リース債務	197,035	66,817
リース資産	141,827	38,857	繰延税金負債	425,802	460,460
建設仮勘定	44,000	—	退職給付引当金	925,240	1,010,700
その他	42,820	37,467	役員退職慰労引当金	110,280	98,983
<b>無形固定資産</b>	<b>443,495</b>	<b>67,955</b>	資産除去債務	32,226	44,273
ソフトウェア	11,971	14,117	その他	407	5,800
のれん	326,104	5,278	<b>負債合計</b>	<b>9,722,906</b>	<b>9,127,438</b>
リース資産	91,049	34,767	<b>純資産の部</b>		
その他	14,369	13,791	<b>株主資本</b>	<b>3,676,455</b>	<b>3,406,783</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>864,960</b>	<b>753,739</b>	資本金	1,387,182	1,387,182
投資有価証券	52,932	45,961	資本剰余金	1,116,886	1,116,886
繰延税金資産	63,000	74,767	利益剰余金	1,232,315	962,608
その他	753,640	648,028	自己株式	△59,928	△59,894
貸倒引当金	△4,612	△15,017	その他の包括利益累計額	△337	△5,200
<b>繰延資産</b>	<b>7,477</b>	<b>3,351</b>	その他有価証券評価差額金	1,590	△3,243
社債発行費	7,477	3,351	為替換算調整勘定	△1,928	△1,956
<b>資産合計</b>	<b>13,457,448</b>	<b>12,584,995</b>	少数株主持分	58,424	55,974
			<b>純資産合計</b>	<b>3,734,542</b>	<b>3,457,557</b>
			<b>負債・純資産合計</b>	<b>13,457,448</b>	<b>12,584,995</b>

## 連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	(平成23年10月1日から平成24年9月30日まで)	(平成22年10月1日から平成23年9月30日まで)
売上高	17,293,257	16,037,467
売上原価	11,875,813	11,128,201
売上総利益	5,417,444	4,909,266
販売費及び一般管理費	5,000,151	4,476,728
営業利益	417,293	432,538
営業外収益	20,321	18,788
営業外費用	127,850	146,185
経常利益	309,764	305,141
特別利益	114,380	27,611
特別損失	40,112	56,481
税金等調整前当期純利益	384,032	276,271
法人税、住民税及び事業税	111,051	124,063
法人税等調整額	819	△280,040
少数株主損益調整前当期純利益	272,161	432,249
少数株主利益	2,454	4,676
当期純利益	269,706	427,572

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	(平成23年10月1日から平成24年9月30日まで)	(平成22年10月1日から平成23年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	424,489	799,810
投資活動によるキャッシュ・フロー	△500,001	77,412
財務活動によるキャッシュ・フロー	721,053	△334,205
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	645,541	543,016
現金及び現金同等物の期首残高	1,399,949	856,932
現金及び現金同等物の期末残高	2,045,490	1,399,949

## 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(平成23年10月1日から平成24年9月30日まで)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額 合計		
当期首残高	1,387,182	1,116,886	962,608	△59,894	3,406,783	△3,243	△1,956	△5,200	55,974	3,457,557
連結会計年度中の変動額										
当期純利益			269,706		269,706					269,706
自己株式の取得				△34	△34					△34
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額(純額)						4,834	28	4,862	2,449	7,312
連結会計年度中の変動額合計	—	—	269,706	△34	269,672	4,834	28	4,862	2,449	276,985
当期末残高	1,387,182	1,116,886	1,232,315	△59,928	3,676,455	1,590	△1,928	△337	58,424	3,734,542

# 個別財務諸表

## 貸借対照表 (要旨)

(単位:千円)

科目	当事業年度 (平成24年9月30日現在)	前事業年度 (平成23年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	5,649,955	5,533,913
固定資産	5,104,700	4,529,676
有形固定資産	2,570,986	2,457,298
無形固定資産	406,172	29,922
投資その他の資産	2,127,541	2,042,454
繰延資産	6,218	1,533
資産合計	10,760,874	10,065,123
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,835,503	5,764,679
固定負債	1,901,884	1,316,163
負債合計	7,737,388	7,080,843
<b>純資産の部</b>		
株主資本	3,023,492	2,988,063
資本金	1,387,182	1,387,182
資本剰余金	1,116,886	1,116,886
利益剰余金	579,351	543,888
自己株式	△59,928	△59,894
評価・換算差額等	△6	△3,783
その他有価証券評価差額金	△6	△3,783
純資産合計	3,023,485	2,984,280
負債・純資産合計	10,760,874	10,065,123

## 損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当事業年度 (平成23年10月1日から 平成24年9月30日まで)	前事業年度 (平成22年10月1日から 平成23年9月30日まで)
売上高	15,337,888	14,196,501
売上原価	10,838,332	10,175,350
売上総利益	4,499,555	4,021,150
販売費及び一般管理費	4,331,265	3,820,728
営業利益	168,289	200,422
営業外収益	40,589	27,966
営業外費用	119,049	134,925
経常利益	89,830	93,463
特別利益	—	26,786
特別損失	3,765	12,677
税引前当期純利益	86,065	107,572
法人税、住民税及び事業税	13,510	13,510
法人税等調整額	37,092	△201,943
当期純利益	35,463	296,005

## 株主資本等変動計算書

当事業年度 (平成23年10月1日から平成24年9月30日まで)

(単位:千円)

	株主資本							評価・換算差額等		純資産 合計			
	資本金	資本 準備金	その 他 資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 別途積立金	利益剰余金 繰越利益剰余金 合計	自己株式	株主資本 合計		その 他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	1,387,182	1,113,302	3,584	1,116,886	46,600	145,000	352,288	543,888	△59,894	2,988,063	△3,783	△3,783	2,984,280
事業年度中の変動額													
当期純利益							35,463	35,463		35,463			35,463
自己株式の取得									△34	△34			△34
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額 (純額)											3,777	3,777	3,777
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	—	—	35,463	35,463	△34	35,428	3,777	3,777	39,205
当期末残高	1,387,182	1,113,302	3,584	1,116,886	46,600	145,000	387,751	579,351	△59,928	3,023,492	△6	△6	3,023,485

# 連結財務ハイライト

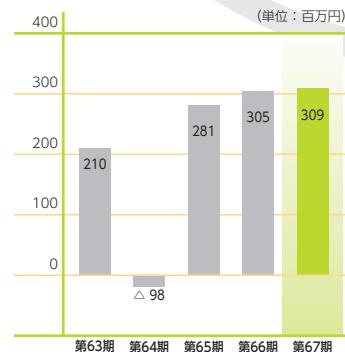
## 受注高



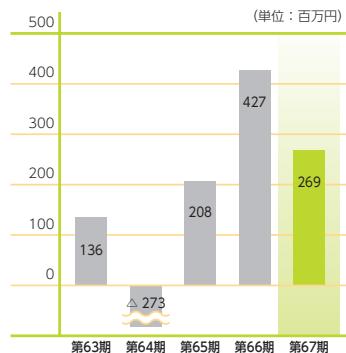
## 売上高



## 経常利益



## 当期純利益



## 総資産



## 純資産



(単位：百万円)

	第63期 (平成20年9月期)	第64期 (平成21年9月期)	第65期 (平成22年9月期)	第66期 (平成23年9月期)	第67期 (平成24年9月期)
受注高	17,062	15,135	15,285	18,179	16,041
売上高	17,390	15,711	15,502	16,037	17,293
経常利益又は経常損失(△)	210	△ 98	281	305	309
当期純利益又は当期純損失(△)	136	△ 273	208	427	269
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	20円48銭	△ 40円58銭	24円32銭	35円04銭	19円27銭
総資産	12,886	12,588	11,341	12,584	13,457
純資産	2,380	1,940	2,494	3,457	3,734

# 株式の状況 (平成24年9月30日現在)

## 株式の状況

■ 発行可能株式総数	普通株式	42,000,000株
■ 発行済株式の総数	普通株式	14,197,438株
■ 1単元の株式数		1,000株
■ 株 主 数		635名

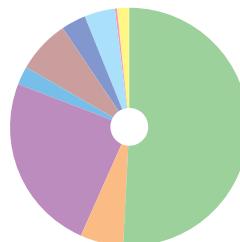
## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株 式 会 社 イ ト ー キ	7,250	51.79
矢 澤 英 実	806	5.76
矢 澤 と し 系	487	3.48
矢 澤 英 人	469	3.35
矢 澤 明 人	464	3.32
矢 澤 瑞 枝	421	3.01
榛 葉 千 津 子	368	2.64
村 口 和 孝	300	2.14
CREDIT SUISSE AG ZURICH	282	2.01
ダ ル ト ン 従 業 員 持 株 会	268	1.91

- (注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 持株比率は、当社の自己株式 (198千株) を控除して算出しております。  
 3. 持株比率は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

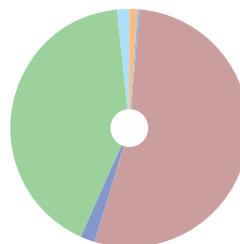
## 所有株式数別株式分布状況

■ 1,000単元以上	1名	7,250千株	51.06%
■ 500単元以上	1名	806千株	5.68%
■ 100単元以上	11名	3,451千株	24.30%
■ 50単元以上	6名	365千株	2.57%
■ 10単元以上	56名	993千株	6.99%
■ 5単元以上	75名	479千株	3.37%
■ 1単元以上	360名	610千株	4.30%
■ 1単元未満	124名	47千株	0.33%
■ 自己株式	1名	198千株	1.40%



## 所有者別株式分布状況

■ 金融機関	6名	185千株	1.30%
■ 証券会社	12名	43千株	0.31%
■ その他国内法人	61名	7,541千株	53.12%
■ 外国人	1名	282千株	1.99%
■ 個人・その他	554名	5,946千株	41.88%
■ 自己株式	1名	198千株	1.40%



# 会社概要 (平成24年9月30日現在)

## 会社概要

創業 1939年(昭和14年)9月  
 資本金 13億8,718万円  
 従業員数 360名

当社グループの事業セグメントと主要事業は、次のとおりであります。

### 科学研究施設

研究・検査・医学・教育施設（ドラフトチャンパー・各種実験台・流し台等）及びこれら施設のプランニング、エネルギー配管の設計・製作・施工・販売  
 排ガス・廃液処理装置、恒温恒湿室、低温試験室等の設計・製作・施工・販売  
 ウェットパス、エッチングブース等半導体関連機器の設計・製作・施工・販売  
 クリーンルーム、バイオクリーンルーム、バイオハザード対策用キャビネット、アインレーター等の無塵無菌装置、関連機器の設計・製作・施工・販売

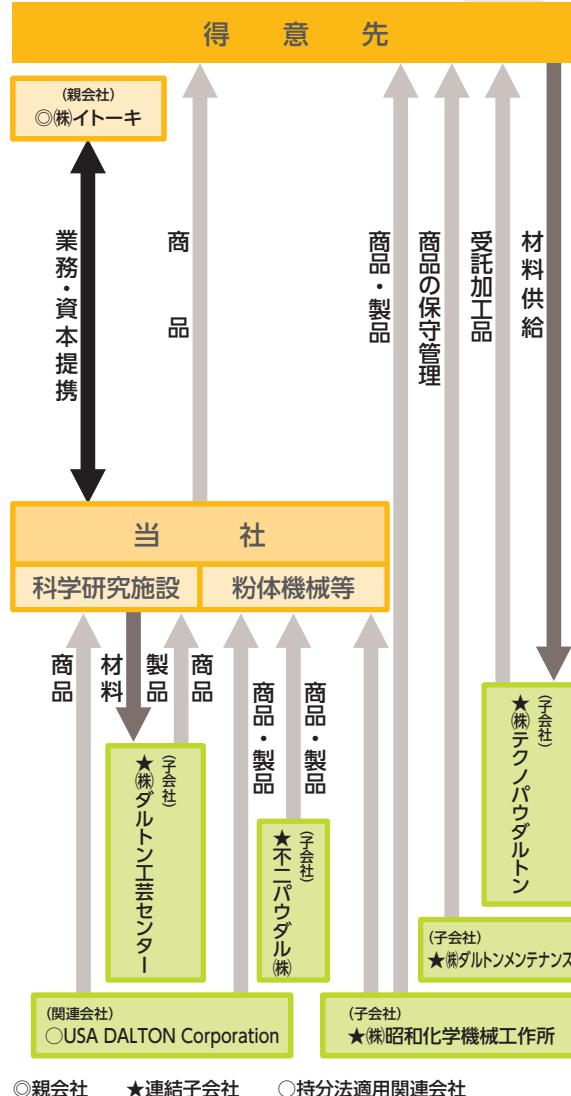
### 粉体機械等

造粒機、粉碎機、乾燥機、混合攪拌機、振動ふるい、電磁除鉄機、パワーミル等粉体の造粒・粉碎・乾燥・混合・分級・輸送等各種処理機械の設計・製作・施工・販売  
 粉碎・造粒等に関する研究開発受託業務及びそれら粉砕品・造粒品等の販売

## 役員 (平成24年12月21日現在)

代表取締役社長	矢	澤	英	人
代表取締役副社長	東	郷		武
常務取締役	瀬	尾	博	幸
取締役	坂	井	邦	雄
取締役	佐	藤	憲	一
取締役	桑	原	敏	之
取締役	正	司	有	史
取締役	安	藤	隆	治
取締役	大	森	英	次
取締役	春	原	伸	文
取締役	金	澤	秀	功
常勤監査役	杉	浦		義
監査役	四	ノ	宮	孝
監査役	西	村	勝	秀

## 事業の系統図



## 株主メモ

事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで  
定時株主総会 毎年12月  
剰余金の配当基準日 9月30日（中間配当を行う場合は3月31日）  
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
同事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
郵便物送付先及び  
お問い合わせ先 〒168-8507  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
0120-288-324（フリーダイヤル）

公告方法 電子公告

[http://www.dalton.co.jp/5\\_ir/index.html](http://www.dalton.co.jp/5_ir/index.html)

ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、東京都内において発行する日本経済新聞に掲載して行います。

# 株式会社 **ダルトン**

〒104-0045 東京都中央区築地五丁目6番10号  
浜離宮パークサイドプレイス  
Tel 03-3549-6800 Fax 03-3549-6854  
<http://www.dalton.co.jp>

## ホームページのご案内

<http://www.dalton.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。